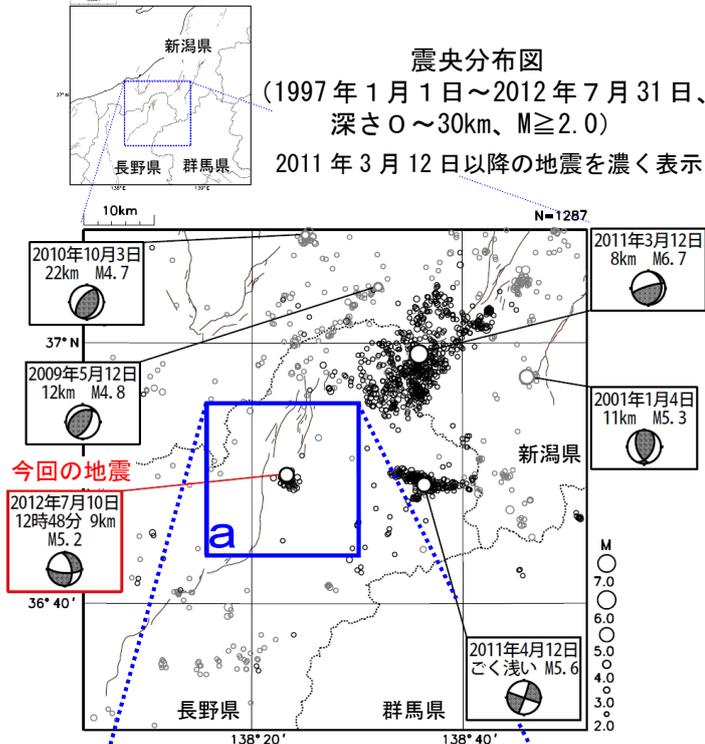


7月10日 長野県北部の地震



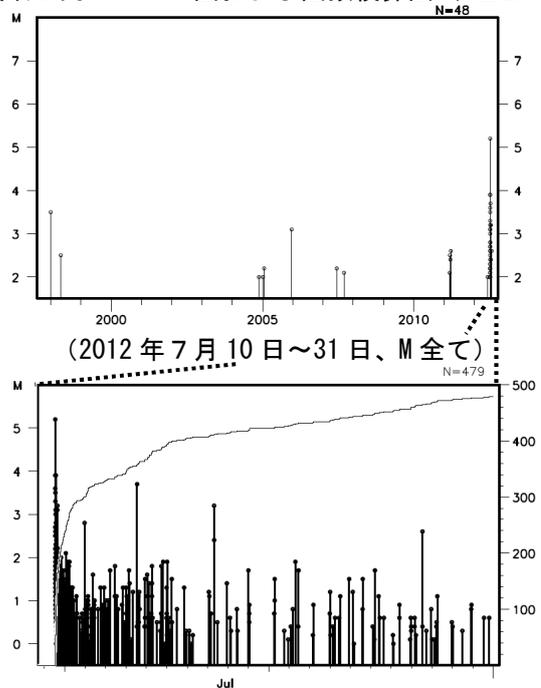
2012年7月10日12時48分に長野県北部の深さ9kmでM5.2の地震(最大震度5弱)が発生した。この地震は地殻内で発生し、その発震機構は北西-南東方向に圧力軸を持つ横ずれ断層型であった。

この地震により、負傷者3人、住家一部破損9棟等の被害が生じた(7月18日現在、総務省消防庁による)。

この地震の最大余震は、同日12時50分、および13時33分に発生したM3.9の地震で、余震活動は発生直後から活発であったが、その後、徐々に収まってきている。7月31日までに、最大震度1以上を観測する余震が21回発生した。

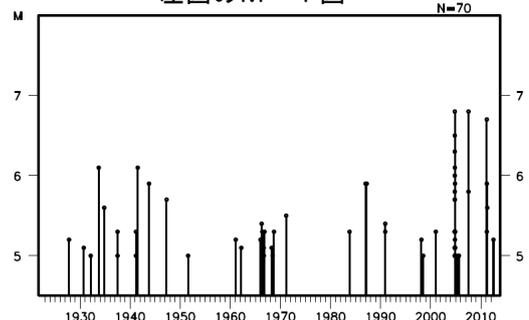
1997年10月以降の活動を見ると、今回の地震の震源付近(領域a)では、今回の地震までM4.0以上の地震は発生していなかった。

領域 a 内の M-T 図および回数積算図 (M≥2.0)



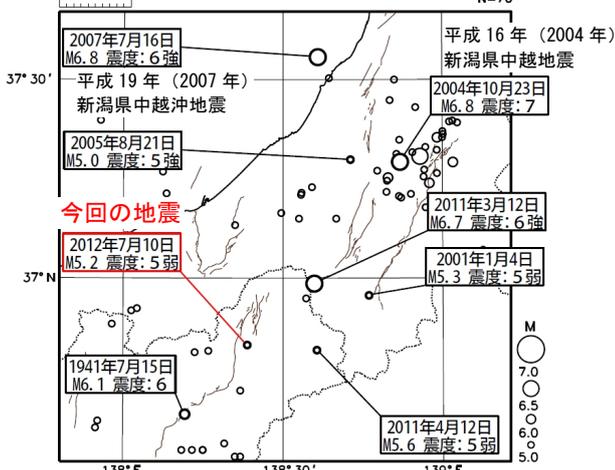
1923年1月以降の地震活動を見ると、新潟県中越地方から長野県北部の領域では、M5.0以上の地震が時々発生している。長野県北部では、1941年7月15日にM6.1の地震(最大震度6)が発生し、死者5人、負傷者18人、住家全壊29棟、住家半壊115棟等の被害が生じた(「最新版日本被害地震総覧」による)。

左図の M-T 図



細線で地震調査研究推進本部による主要活断層帯を表示。

震央分布図 (1923年1月1日～2012年7月31日、深さ0～30km、M≥5.0)



細線で地震調査研究推進本部による主要活断層帯を表示。